

■ 東京国体(スポーツ祭東京 2013) トピックス

いよいよ開幕！ 東京国体(スポーツ祭東京2013) 会期前競技(9月11～15日) 結果速報

[会期競技は9月28日総合開会式～10月8日]

平成 25 年 9 月 11 日から 15 日まで、東京都内各会場において、東京国体会期前競技(水泳競技とボート競技)が開催されました。

そこで、和歌山県選手団は大活躍。水泳競技において成年 8 種目、少年 1 種目で入賞し、42 点(昨年 19 点)を獲得しました。

現在、2 月に行われた冬季競技の 23 点と合わせて獲得得点は 65 点。28 日から始まる会期競技に向けて順調なスタートが切れています。

入賞おめでとうございます！！

● 水泳競技 競泳

成年男子	400m自由形	山本耕平選手(鹿屋体育大学 4 年)	3位(6点)
	200m個人メドレー	中谷尚樹選手(中京大学 4 年)	6位(3点)
	50m自由形	下田 瑛 選手(パルポートワカヤマ)	6位(3点)
	200mリレー	下田 瑛 選手(パルポートワカヤマ)・富田一穂選手(日本大学4年) 兵頭洋樹選手(向陽高等学校(教))・平 拓也選手(ゆうゆうスポーツクラブ)	4位(5点)
成年女子	50m自由形	押川里奈選手(スポーツクラブアドヴァンスむそた)	6位(3点)
	200mリレー	押川里奈選手(スポーツクラブアドヴァンスむそた)・宮脇唯選手(福岡大学 4 年) 橋口佳世選手(ゆうゆうスポーツクラブ)・前川知佳子選手(同志社大学 2 年)	6位(3点)
少年男子 A	400m自由形	松本紳吾選手(神島高等学校 3 年)	3位(6点)

● 水泳競技 飛込

成年男子	飛板飛込	安永元樹選手(海南高等学校(教))	3位(6点)
	高飛込	安永元樹選手(海南高等学校(教))	2位(7点)

水泳競技 合計 42点獲得



選手・監督からのコメント

○山本耕平選手（競泳：成年男子）

はじめから、飛ばして行くことを考えていました。今後の目標は、リオデジャネイロオリンピック出場と、わかやま国体で萩野を倒して優勝することです。

○中谷尚樹選手（競泳：成年男子）

自分のベストタイムを考えると少し不満です。わかやま国体では、個人で優勝し、和歌山県に貢献したいです。

○富田一穂選手（競泳：成年男子）

200mリレーの第4位は悔しい結果です。わかやま国体では更にパワーアップし日本新記録で優勝したいです。

○下田瑛選手（競泳：成年男子）

4位を狙っていたので悔しいです。トップの選手とはまだまだ差があります。わかやま国体では、リレーと個人で優勝したいです。

○橋口佳世選手（競泳：成年女子）

個人種目が不甲斐ない成績だったので、200mリレーの第6位は満足していません。このメンバーでは初めてのレースだったので入賞できて嬉しいです。わかやま国体では、個人とリレーで優勝したいです。

○押川里奈選手（競泳：成年女子）

タイムは満足していませんが、入賞できて嬉しいです。大会前の調整も含めて、わかやま国体までトップアスリートとして成長したいです。

○松本紳吾選手（競泳：少年男子）

和歌山県のために得点でき、またベストタイムがでたのでとても嬉しいです。最後にバテたことを克服するのが今後の課題です。

○坂上裕昭監督（競泳）

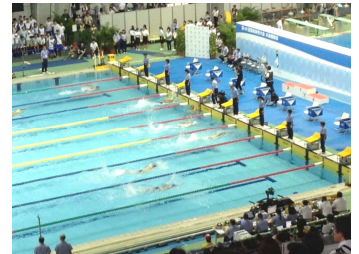
重圧に耐えきれず、力を発揮できない選手がいました。メンタル面も強化しなければ、わかやま国体では勝てないです。今後は、戦略をねって強化を図り、強化選手以外の選手も視野に入れた全体のレベルアップを目指します。

○安永元樹選手（飛込：成年男子）

新しい環境になって、自分の力を出し切れたので満足しています。もっと得点を伸ばせられたらよかったと思いますが、悪くない演技でした。少しはチーム和歌山に勢いをもたせることができたのでよかったです。

○段木雅博監督（飛込）

いい演技をしてくれました。飛板に関しては、完璧なものだったと思います。高飛込は、惜しい演技があったので、次への課題も見つかりました。そのような演技であったにも関わらず2位に食い込んだのは、素晴らしいことだと思います。



9月28日(土)に東京都「味の素スタジアム」において、東京国体(スポーツ祭東京2013)総合開会式が開催され、10月8日(火)までの全11日間の熱い戦いが始まります。

東京国体における和歌山県選手団の目標は獲得得点1025点、順位18位を上回ることです。昨年は競技を2日残して、目標得点の830点を達成、最終的には目標を大きく上回る934.5点を獲得することができました。

今年も、会期前競技での好成績を引き継ぎ、目標達成に向けて「チーム和歌山」一丸となって頑張らしましょう!